

BCG

スタンプ型の針を使うワクチンで結核を予防します。

スケジュール

生後5か月から1歳未満まで（それ以外は自費になります）に終わらせましょう。ほかのワクチンとの同時接種も可能です。

ワクチンは9本の針が付いているスタンプ型の針を使って上腕外側中央に2か所接種します。跡が目立たないように肩や背中に接種するとケロイドになってしまうので規定のところ以外の接種はしません。

結核患者が少ないアメリカなどの海外で生活していた方はBCGを接種していないことが多いのですが、日本では結核にかかっている方が時々います（平成27年は新たな結核患者が18000人）。予防のためBCGは必ず受けてください。

BG接種後の反応

BCG接種部位は10日から4週間ぐらい経過すると発赤、硬結、腫脹、痂皮（かさぶた）などの局所反応がみられます。反応が強い場合は膿（ウミ）が出ることもあります。時間が経過するとおさまるので特に処置はしません。3か月以上ジクジクが続いた場合は受診してください。

BCG接種後1～3か月ぐらいで腋下（わきの下）リンパ節が腫れることがあります。放っておいても接種後6か月ぐらいでなくなります。